

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 5 1 号	氏名	計屋 知彰
学 位 審 査 委 員	主 査	小路 武彦	
	副 査	関根 一郎	
	副 査	永安 武	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、アンドロゲン非依存性前立腺癌（AIPC）に於ける前立腺特異抗原（PSA）発現の調節機構を明らかにする目的で、アンドロゲン非依存性に増殖するヒト前立腺癌細胞株である LNCaP C-81 細胞を用いて EGF/EGFR 系による影響を検討したものであり、研究目的として妥当である。 2 研究手法に関する評価 LNCaP C-81 細胞をアンドロゲン除去環境下で培養し、EGF 及び EGFR 阻害剤（AG1478）或いは PI3 キナーゼ阻害剤（LY294002）の投与を行い細胞増殖や PSA 及びアンドロゲンレセプター（AR）発現への影響を適切に検討している。また、実際のヒト前立腺癌組織標本でも PSA、EGF、EGFR の発現を免疫組織化学的に検討しており、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 以上の解析の結果、LNCaP C-81 細胞に於いて PSA の発現・分泌は EGF によりアンドロゲン非依存的に抑制されることが判明し、更にヒト前立腺癌組織でも同様な PSA と EGF 或いは EGFR 発現との逆相関が認められ、AIPC に於ける新たな PSA 制御機構の一つを見い出した点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。 以上のように、本論文はアンドロゲン非依存性前立腺癌での PSA 発現調節機構の理解に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			